

ご当地キャラクターの活用に関する調査研究
報 告 書

平成 27 年 3 月

公益財団法人 東京市町村自治調査会

目次

第1章 はじめに	- 1 -
1-1 調査研究の背景・目的	- 3 -
1-2 調査研究のコンセプト・方向性	- 4 -
1-3 調査研究におけるご当地キャラクターの定義	- 5 -
1-4 調査研究方法	- 6 -
第2章 全国及び多摩・島しょ地域における ご当地キャラクターの現状と課題	- 9 -
2-1 市区町村アンケート	- 11 -
2-1-1 市区町村アンケートの概要	- 11 -
2-1-2 ご当地キャラクターの概要	- 12 -
2-1-3 公営キャラクターの作成方法・経緯	- 15 -
2-1-4 公営キャラクターの運用体制・予算	- 20 -
2-1-5 公営キャラクターの知的財産管理	- 25 -
2-1-6 公営キャラクターの活用状況	- 28 -
2-1-7 取組に対する評価	- 36 -
2-1-8 活動の課題	- 39 -
2-1-9 民営キャラクターとの関わり	- 40 -
2-1-10 今後のキャラクターの作成意向	- 44 -
2-2 都道府県アンケート	- 46 -
2-2-1 都道府県アンケートの概要	- 46 -
2-2-2 ご当地キャラクターの概要	- 47 -
2-2-3 公営キャラクターの作成概要	- 48 -
2-2-4 公営キャラクターの運用体制・予算	- 51 -
2-2-5 公営キャラクターの知的財産管理	- 53 -
2-2-6 公営キャラクターの活用状況	- 55 -
2-2-7 取組に対する評価	- 56 -
2-2-8 活動の課題	- 59 -
2-2-9 民営キャラクターとの関わり	- 60 -
2-2-10 所管内の市区町村のキャラクターとの関係	- 62 -
2-2-11 今後のキャラクターの作成意向	- 63 -
2-3 市区町村・都道府県アンケートからみたご当地キャラクターの課題整理	- 64 -
2-4 住民アンケート	- 68 -
2-4-1 住民アンケートの概要	- 68 -
2-4-2 ご当地キャラクターへの印象	- 70 -
2-4-3 ご当地キャラクターを好きになったきっかけ	- 77 -
2-4-4 ご当地キャラクターによる興味喚起や行動の促進	- 82 -
2-4-5 行政によるご当地キャラクターの活用に関する意見や要望	- 87 -
2-4-6 居住地のご当地キャラクターに対する認知・印象	- 90 -
2-5 住民アンケートからみたご当地キャラクターの課題整理	- 94 -
第3章 先進事例からみたご当地キャラクター 活用のポイント	- 97 -
3-1 活用のポイントと事例について	- 99 -

3-2 先進事例	- 100 -
3-2-1 アルプちゃん(長野県松本市)	- 100 -
3-2-2 大崎一番太郎(東京都品川区)	- 102 -
3-2-3 コアツクマ&アツクマ(北海道)	- 104 -
3-2-4 稲城なしのすけ(東京都稲城市)	- 106 -
3-2-5 とまチョップ(北海道苫小牧市)	- 108 -
3-2-6 はむりん(東京都羽村市)	- 110 -
3-2-7 おりひめちゃん(大阪府交野市)	- 112 -
3-2-8 バリィさん(愛媛県今治市)	- 114 -
3-2-9 ひがっしー(東京都東村山市)	- 116 -
3-2-10 ジャンボヘル三世(富山県入善町)	- 118 -
3-2-11 しんじょう君(高知県須崎市)	- 120 -
3-2-12 ひのじゃがくん(東京都檜原村)	- 122 -
3-2-13 桃色ウサビ(山形県朝日町)	- 124 -
3-2-14 超神ネイガー(秋田県にかほ市)	- 126 -
3-2-15 コダレンジャー(東京都小平市)	- 128 -
3-2-16 あみたん娘(富山県高岡市)	- 130 -
第4章 ご当地キャラクターの運用にかかる マーケティングとマネジメント	- 133 -
4-1 マーケティングとマネジメントのあり方	- 135 -
4-1-1 マーケティングについて	- 135 -
4-1-2 マネジメントについて	- 143 -
4-2 多摩・島しょ地域におけるご当地キャラクターの方向性	- 150 -
4-2-1 多摩・島しょ地域におけるマーケティングについて	- 151 -
4-2-2 多摩・島しょ地域におけるマネジメントについて	- 153 -
第5章 おわりに	- 155 -
資料編	- 159 -
5-1 市区町村アンケート調査票	- 161 -
5-2 都道府県アンケート調査票	- 169 -
5-3 住民アンケート調査票(インターネットアンケート)	- 177 -